

ワイン新時代!



個性を打ち出し成功
ヌメロサンク(東京・神楽坂)
タロス(東京・渋谷)
銀慧富運(東京・新宿三丁目)

ヘッドソムリエ森寛氏
コンラッド東京
ホテルオークラ東京
マナージャー江川和彦氏
ロンドン
スペシャルトーク
バロンオークラ



友田晶子の
気になる

日本酒

ソチのメダルをイメージして、 「金」の日本酒・焼酎たち

この号が出るころは、ソチオリンピックで盛り上がりつつある。政治的な問題も抱えているがオリンピックはあくまでスポーツ競技。今回は今までも増して期待値の高い選手陣が活躍している（はずだ、きつと）。率直にスポーツとして応援したい。とはいえスポーツも勝負。選手がよく使う言葉「楽しみながら頑張ります」ももともとだが、本気で勝負気でのぞんでほしい。応援する側も本気で応援するから。ま、飲みながらだけどね。すまぬ。大人の応援には酒が欠かせないのだよ。

この機を逃さない飲食店は多いはず。商業主義が問題のオリンピックだが、飲食サービスはおおいに無邪気に便乗すべきだ。日本酒・焼酎コラムとしてはこの時期に飲みたい銘柄を考えてみた。応援の意味も込めて「金」にこだわった酒を探してみたら意外にあるんですね。書き並べてみよう。

●焼酎

「金霧島」(スリッソ/霧島酒造/宮崎県)

「黒霧」「赤霧」のほかに「金」もあった。冬虫夏草を漬けた薬用焼酎。

「金しろ」(米/高橋酒造/熊本県)

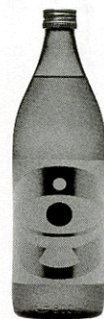
飲みやすい米焼酎の代名詞「しろ」の「金」バージョン。樽熟成でラベルはゴージャス。

「金胡麻」(米・胡麻/キリン八代不知火蔵/熊本)

これまたキラキラ輝くラベルがまぶしい。希少価値の高い「金胡麻」の焼酎は香ばしさ抜群。

「田苑 GOLD」(麦/田苑酒造/鹿児島)

カジュアルに楽しめる「金」。オーク樽で3年熟成。美しい色合いがまさにメダルをイメージさせる。



「大金の露」(芋/新平酒造/鹿児島)
金メダルをイメージしやすいラベル。手を抜かず気を抜かず芋焼酎の金字塔を目指す酒。

「大金の露」
900ml
新平酒造
1100円
TEL099147610024

「金鶴」(加藤酒造店/新潟県)

佐渡の清酒。良質な水と有機栽培米で造る生真面目な清酒。にこり酒は冬限定。

「金龍」(二ノ蔵/富城町)

あの一ノ蔵の別蔵「金龍蔵」。南部杜氏の技で寒仕込みする。契約販売で希少価値高し。

「梵 GOLD」(加藤吉平商店/福井県)

今や世界中で飲める日本酒となった。GOLDは無濾過純米大吟醸。透明感とコクが魅力。



「梵・ゴールド」
720ml 1500円
加藤吉平商店
TEL077815111507

●日本酒

「金剛」(金剛酒造/岡山県)

蔵は備前焼の故郷に位置する。金剛は「金剛川」から命名。もちろん備前焼の酒器で楽しむべし。

「金婚正宗」(豊島屋本店/東京都)

江戸時代から続く神田生まれの地酒。「吟の舞」「ぎんから」はフィギュアや「銀」もイメージできる。



「金婚正宗」純米大吟醸吟の舞
720ml 2415円(税込)
豊島屋本店
TEL031329319117



「謹醸しろ」(通称：金しろ)
720ml 1260円
高橋酒造株式会社 人吉本社
TEL096612415155

いかがだろう。オリンピック観戦にはどれもピタリじゃないだろうか。時差の関係で日本でのテレビ放送は真夜中になる。これは飲まずにはいられない。
ちなみに、ソチオリンピックのテーマを「存じだろうか。答えは「HotCool.Yours」。意味は「ホットで、クールな、みんなの大会」だ。けっして「お爛も、冷酒も、みんな大好き」ではないからね。